



JTUトライアスロン強化対策 オリンピックで目標を達成するために

遂に今年、リオデジャネイロで第31回夏季オリンピック競技大会／
第15回夏季パラリンピック競技大会が開催される。オリンピックでの女子入賞、男子12位以内という目標達成のため、
そして2020年に東京で開催される第32回夏季オリンピック競技大会／第16回夏季パラリンピック競技大会に
つなげるため、今年もJTUでは選手の育成・強化を実施していく。

ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会



2016年JTUトライアスロン・エリート強化指定選手制度

対象選手と認定期間

日本国籍を有する16歳以上(2016年12月31日現在)のJTU登録選手。期間は2015年12月1日から2016年11月末日。

認定内容と承認手順

「JTUエリート強化オリンピックO(1~5)指定選手、JTUエリート強化A(1~7)指定選手、JTUエリート強化B(1~11)指定選手」を四半期(3カ月)ごとに選考し、理事会承認により認定する。評価にあたっては、レース展開上の諸条件や抗議・上訴などの結果を考慮する場合がある。なお、各対象大会で資格の取得・昇格があった場合は、次の大会参加を優先に進めるため、新規資格の即時適用を基本とする。

対象トライアスロン大会・記録会(カッコ内は略称)

- 1) ITU世界トライアスロンシリーズ(WTS)
- 2) ITUトライアスロン・ワールドカップ(W杯)
- 3) ITUトライアスロン世界U23選手権(世界U23選手権)
- 4) ITUトライアスロン世界ジュニア選手権(世界ジュニア選手権)
- 5) ITUトライアスロン・コンチネンタルカップ(C杯)
- 6) ASTCトライアスロンアジア選手権(アジア選手権)
- 7) ASTCトライアスロンアジアU23選手権(アジアU23選手権)
- 8) ASTCトライアスロンアジアジュニア選手権(アジアジュニア選手権)
- 9) 日本トライアスロン選手権(日本選手権)
- 10) JTU公式大会、国民体育大会、日本スプリント選手権、日本U23選手権、日本U19選手権(公式大会)
- 11) JTU認定記録会(認定記録会)

JTU強化指定への資格等の授与(詳細は別基準・規定)

- 1) JOCオリンピック強化指定選手への選考資格(6名以内基本)
- 2) ITU世界トライアスロンシリーズ、ワールドカップ、コンチネンタルカップの出場資格(派遣基準)は別規定
- 3) JTU公式大会(国体、日本選手権、日本U23・U19選手権を除く)出場資格
- 4) 大会主催者招待枠の優先出場資格
- 5) 強化合宿(国内・海外)への参加資格(別規定)
- 6) 強化全般の各種支援

補則

- 1) 「JOC派遣の国際総合大会」の評価は別に審議し決定する
- 2) 「世界トライアスロンシリーズランキング」の評価は別に審議し決定する
- 3) 「順位率」の記載がないランクは出場人数により評価する
- 4) 派遣規定(ユニフォーム含む)は別に定める
- 5) 荒天や災害などにより距離・種目に変更された場合、レース中の予期せぬ事故や上位選手の失格などで順位繰り上げがあった場合は、オリンピック対策チームで審議し評価を決定する

2016年JTUトライアスロン・ジュニア強化指定選手制度

対象選手と認定期間

日本国籍を有する12-19歳(2016年12月31日現在)のJTU登録選手。期間は2015年12月1日から2016年11月末日。

認定内容と承認手順

「JTUジュニア強化S(1~7)指定選手、A(1~11)指定選手、B(1~8)指定選手、C(1~5)指定選手、D(1~3)指定選手、E(1~3)指定選手」を四半期(3カ月)ごとに選考し、理事会承認により認定する。評価にあたっては、レース展開上の諸条件や抗議・上訴などの結果を考慮する場合がある。なお、各対象大会で資格の取得・昇格があった場合は、次の大会参加を優先に進めるため、新規資格の即時適用を基本とする。

対象トライアスロン大会・記録会(カッコ内は略称)

- 1) ITU世界トライアスロンシリーズ(WTS)
- 2) ITUトライアスロン・ワールドカップ(W杯)
- 3) ITUトライアスロン世界U23選手権(世界U23選手権)
- 4) ITUトライアスロン世界ジュニア選手権(世界ジュニア選手権)
- 5) ITUトライアスロン・コンチネンタルカップ(C杯)
- 6) ASTCトライアスロンアジア選手権(アジア選手権)
- 7) ASTCトライアスロンアジアU23選手権(アジアU23選手権)
- 8) ASTCトライアスロンアジアジュニア選手権(アジアジュニア選手権)
- 9) 日本トライアスロン選手権(日本選手権)
- 10) JTU公式大会、国民体育大会、日本スプリント選手権、日本U23選手権、日本U19選手権(公式大会)
- 11) JTU主催大会でU19/U15カテゴリーを設定している大会(公式大会(U19/U15))
- 12) 日本学生トライアスロン選手権(日本学生選手権)
- 13) JTU認定記録会(認定記録会)

参加資格の授与<対象ランク(派遣は別規定)>

- 1) コンチネンタルカップ<S・A/16-17歳はスプリントディスタンス(SD)のみ>
- 2) ジャパンカップ<S・A・B・C/16-17歳はSDのみ>
- 3) JTU公式大会(U19)<S・A・B・C>
- 4) 日本U23選手権<S・A・B・C/18歳以上>
- 5) 日本U19選手権<S・A・B・C>
- 6) 日本U15選手権<D・E>
- 7) U23強化合宿<別規定>
- 8) U19強化合宿<別規定>
- 9) U15強化合宿<D・E>
- 10) ITUジュニア・コンチネンタルカップ<S・A・B・C/16-17歳はSDのみ>

備考

- 1) 「JOC派遣の国際総合大会」の評価は別に審議する
- 2) 「順位率」の記載がないランクは出場人数により評価する
- 3) 派遣規定(ユニフォーム含む)は別に定める
- 4) 荒天や災害などにより距離・種目に変更された場合、レース中の予期せぬ事故や上位選手の失格などで順位繰り上げがあった場合は、オリンピック対策チームで審議し評価を決定する



ITU世界トライアスロンシリーズグランドファイナルシカゴ大会

2016年度JTUオリンピック 対策チーム・事業計画(案)

エリート強化

- 1) エリート強化O指定選手活動(補助金)(通年)
- 2) 第1回ナショナルチーム合宿(長野)(5月1日(日)~5月10日(火))
- 3) 第2回ナショナルチーム合宿(味の素NTC・JISS)(5月19日(木)~5月21日(土))
- 4-1) ヨーロッパ遠征合宿(リーズ、キッツビュール、ストックホルム、ティサ、ハンブルグ)(6月8日(水)~7月19日(火))
- 4-2) リオ対策合宿(個別、希望場所)(6月8日(水)~7月19日(火))
- 5) リオ対策合宿(個別、希望場所)(7月19日(火)~8月12日(金))
- 6) パンアメリカ遠征(メキシコシティ・コズメル・サリナス)(8月29日(月)~9月29日(木))
- 7) 第3回ナショナルチーム合宿(宮崎)(10月11日(火)~10月27日(木))
- 8) 第4回ナショナルチーム合宿(味の素NTC・JISS)(11月28日(月)~12月1日(木))
- 9) 第5回ナショナルチーム合宿(宮崎)(2017年1月9日(月・祝)~1月23日(月))

次世代強化

- 1) ジュニア強化指定選手およびJSCタレント選手・個別合宿(通年)
- 2) 第1回U15合宿(岐阜)(7月31日(日)~8月4日(木))
- 3) 第1回U23強化合宿(長野)(8月18日(木)~8月26日(金))
- 4) ニュージーランド遠征(12月10日(土)~12月20日(火))
- 5) 第2回U23強化合宿(味の素NTC・JISS・宮崎)(12月21日(水)~28日(水))

- 6) 第2回U15合宿(未定)(12月25日(日)~12月28日(水))
- 7) 第3回U23強化合宿(宮崎)(2017年3月22日(水)~3月27日(月))

JTUトライアスロンアカデミー プロジェクト

「JTUトライアスロン・タレント発掘プロジェクト」(一貫指導システム、全国強化拠点、スカウティング)の事業として、次世代のタレントを発掘して「アカデミー選手」に認定し特別な育成・強化を実施していく。





第17回日本ジュニアトライアスロン選手権

サポート

- 1) JTU強化拠点での特別プログラム提供
- 2) 合宿費・遠征費などの活動支援
- 3) 学業・生活拠点などの活動サポート
- 4) バイクなど機材の提供
- 5) その他、特別強化に関わる諸事業の展開

認定基準

対象

日本国籍を有する16-19歳(2016年12月31日現在)のJTU登録選手

審査

- ・アカデミー選考記録会(スイム400m、ラン3,000m)
- ・適正診断
- ・面接(本人)
- ・最終選考 最終面接(本人・保護者)

期間

認定開始日から20歳(該当年12月31日現在)になるまで

支援

当該選手の活動するJTU強化拠点(アカデミー拠点のみ)での支援を行う。

- 1) JTUエリート強化A指定選手：四半期/1名
- 2) JTUエリート強化B指定選手：四半期/1名
- 3) JTUアカデミー選手：四半期/1名



ASTCアジアトライアスロン選手権ニュータイペイ大会

マネージャー・委員長コメント

オリンピック対策チーム

マネージャー 山根英紀(千葉)

2016年シーズンはオリンピックイヤーとなるため、掲げた目標(女子入賞、男子12位以内)を達成するために必要な強化策を講じ、選手がスタートラインに立ったとき、「すべての準備ができた」と自信を持てるよう、万全の準備をしていきます。

そして、JTU役員、スタッフ、スポンサーはもとより、日本オリンピック委員会(JOC)や日本スポーツ振興センター(JSC)など関係各位の総力を結集してリオデジャネイロに向かい、さらにその流れを2020年の東京まで繋げていきたいと考えています。

また、世界トライアスロンシリーズでは、グランドファイナルのコスメルまでの9戦を戦い、女子6位以内、男子12位以内の目標を達成し、2020年の女子メダル獲得、男子入賞という目標達成につながるよう効果的な派遣を行っていきます。

次世代育成強化委員会

委員長 中山俊行(神奈川)

次世代育成強化は次の大きな三つの目標が掲げられます。一つ目が第32回夏季オリンピック競技大会(2020/東京)に向けての強化。二つ目がそれ以降に向けた強化。三つ目がトップ指導者の育成です。

現在、エリートで戦う選手に対抗できる若手選手の育成・強化が2020年に向けた強化の軸となります。年齢やポイントシステムの状況から、2020年に向けて活動が可能な選手は数名に絞られます。その絞られた選手たちをいかに世界レベルにまで育成していくかを念頭に、出場レースの選定や強化合宿の開催などで支えています。

同時にその次の世代の育成も重要となります。教育に重点を置きながら4年後には世界を舞台に戦える心身の強さを習得させる必要があります。

これを達成できるかについては、三つ目の指導者育成が大きく影響してきます。



第21回日本トライアスロン選手権東京港大会

2016年世界主要大会

近年、ITU世界トライアスロンシリーズがテレビ放映されるなど、海外のレースが注目を集めている。世界各国で開催されるレースは、海外選手との激しいレース展開はもちろん、景色や食事などレース以外でも楽しみが多い。近年はエリート選手のみならずエイジグループ選手やパラトライアスロン選手も世界の舞台に挑み、結果を残している。

ITU世界トライアスロンシリーズ(WTS)

- 3月4日(金)、5日(土) アブダビ大会(アラブ首長国連邦)(51.5km)
- 4月9日(土)、10日(日) ゴールドコースト大会(オーストラリア)(51.5km)
- 4月23日(土)、24日(日) ケープタウン大会(南アフリカ)(25.75km)
- 5月14日(土)、15日(日) 横浜大会(日本)(51.5km)
- 6月11日(土)、12日(日) リーズ大会(イギリス)(51.5km)
- 7月2日(土)、3日(日) ストックホルム大会(スウェーデン)(51.5km)
- 7月16日(土)、17日(日) ハンブルク大会(ドイツ)(51.5km)
- 9月3日(土)、4日(日) エドモントン大会(カナダ)(51.5km)
- 9月17日(土)、18日(日) グランドファイナル(GF)コスメル大会(メキシコ)(51.5km)

ITU世界U23選手権(51.5km)

- 9月16日(金)、17日(土)コスメル大会(メキシコ)

ITU世界ジュニア選手権(25.75km)

- 9月16日(金)コスメル大会(メキシコ)

ITU世界選手権

- 2月13日(土)、14日(日) ITU世界ウィンタートライアスロン選手権(オーストリア・ツェルトベク)
- 6月4日(土)、5日(日) ITU世界デュアスロン選手権(スペイン・アビレス)
- 7月16日(土)、17日(日) ITU世界ミックスリレートトライアスロン選手権(ドイツ・ハンブルク)
- 7月23日(土)、24日(日) ITU世界パラトライアスロン選手権(オランダ・ロッテルダム)
- 9月4日(日) ITUパワーマン・ロングディスタンスデュアスロン世界選手権(スイス・ツォフィンゲン)
- 9月14日(水) ITU世界アクアスロン選手権(メキシコ・コスメル)
- 9月15日(木) ITU世界エイジグループスプリントディスタンストライアスロン選手権(メキシコ・コスメル)
- 9月18日(日) ITU世界エイジグループトライアスロン選手権(メキシコ・コスメル)
- 9月24日(土)、25日(日) ITU世界ロングディスタンストライアスロン選手権(アメリカ・オクラホマ)
- 11月19日(土)、20日(日) ITU世界クロストライアスロン選手権(オーストラリア・スノーウィー・マウンテンズ)

ITUワールドカップ

- 3月12日(土)、13日(日) ムールラバ大会(オーストラリア)(25.75km)
- 4月2日(土)、3日(日) ニュープリマス大会(ニュージーランド)(25.75km)
- 4月16日(土)、17日(日) チョウトゥー大会(中国)(51.5km)
- 5月7日(土)、8日(日) カリアリ大会(イタリア)(25.75km)

- 5月7日(土)、8日(日) ウェットウルコ大会(メキシコ)(51.5km)
- 6月18日(土)、19日(日) キッツビュール大会(オーストリア)
- 7月9日(土)、10日(日) ティサウイパローシュ大会(ハンガリー)(25.75km)
- 8月6日(土)、7日(日) モントリオール大会(カナダ)(25.75km)
- 9月24日(土)、25日(日) サリナス大会(エクアドル)(25.75km)
- 10月22日(土)、23日(日) トンヨン大会(韓国)(25.75km)
- 10月29日(土)、30日(日) 宮崎大会(日本)(51.5km)

ASTCアジア選手権

- 4月16日(土)、17日(日)南アジアトライアスロン選手権(ネパール・ポカラ)
- 4月29日(金・祝)~5月1日(日) 甘日市大会(日本)
- 11月19日(土)、20日(日)西アジアトライアスロン選手権(ヨルダン・アカバ)

NTT-ASTCアジアカップ

- 4月16日(土)、17日(日)スービックベイ大会(フィリピン)
- 5月7日(土)タイチョウ大会(中国)
- 5月13日(金)~15日(日)ブラベイ大会(カザフスタン)
- 6月5日(日)ニュータイバイ大会(チャイニーズ・香港)
- 6月26日(日)蒲郡大会(日本)
- 7月1日(金)~3日(日)コクシェタウ大会(カザフスタン)
- 7月10日(日)大阪大会(日本)
- 7月16日(土)、17日(日)シンガポール大会
- 8月27日(土)、28日(日)バリアマン大会(インドネシア)
- 9月25日(日)村上大会(日本)
- 10月15日(土)、16日(日)スプリント・香港大会(チャイニーズ・香港)
- 11月19日(土)、20日(日)ブリトゥン島大会(インドネシア)

アジア大会

- 9月10日(土)、11日(日) ITU世界ロングディスタンストライアスロン・シリーズイベント(中国・ウエイハイ)

ITU世界パラトライアスロン大会

- 3月20日(日)パッファローシティー大会(南アフリカ)
- 4月23日(土)、24日(日)ベンリス大会(オーストラリア)
- 4月29日(金・祝) 甘日市大会(日本)
- 5月14日(土)、15日(日)アギラス大会(スペイン)
- 5月14日(土)横浜大会(日本)
- 6月5日(日)ストラックライド大会(イギリス)
- 6月19日(日)プサンソン大会(フランス)
- 7月23日(土)、24日(日)ロッテルダム大会(オランダ)

その他の大会

- 8月18日(木)、20日(土)第31回夏季オリンピック競技大会(ブラジル)
- 9月10日(土)、11日(日)第15回夏季パラリンピック競技大会(ブラジル)



2020 TOKYO

さらに高く 次のステージへ



**Triathlon Japan
National
Team**



Supported by

 **NTT 東日本**  **NTT 西日本**

www.jtu.or.jp



2016 RIO DE JANEIRO



スポーツ。水。アミノ酸。

「運動中に水を飲むな」。つい二十年ほど前まで、当然のように行われていた指導法です。しかし今では、こまめに水を摂るのが常識。スポーツは科学的見地から語られるようになったのです。さて、水分補給については大勢が知るところとなった。だがまだ、大事な補給がされずにいる。アミノ酸です。運動中の肉体は、想像以上に酷使されている。最高のパフォーマンスを発揮するためには、筋肉中のたんぱく質をすばやく補う必要がある。アミノ酸は、そのたんぱく質をつくる唯一の栄養素なのです。そう、必要なのは水だけではない。水といっしょにアミノ酸が不可欠。これは宣伝文句でもなんでもありません。スポーツ栄養科学が明らかにした事実でしかない。気づいている人は、当たり前前に飲んでいます。アミノ酸で、あなたのスポーツが大きく変わる。合言葉は「スポーツ。水。アミノ酸。」です。

amino
VITAL^{アミノバイタル}
®

いつものプール、ロード。ただ繰り返す。
今日も、明日も。
一本でも多く泳いだか？走ったか？
昨日の自分より、速くなったか？
ゴールは向こうからは、やってこない。
だから近づく。一步一步。

挑戦は、美しい。



©Satoshi TAKASAKI/JTU

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

人の心に働きかけ、人の心に響き、人の心が動く。

そんなイベントを多く仕掛けていく、手掛けていくことを目指しています。



イベント・ソリューション・パートナー

株式会社セレスポ スポーツ事業推進室

〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5

tel:03-5974-1135 fax:03-5394-7637

www.cerespo.co.jp/

セレスポ



セレスポは日本トライアスロン連合のオフィシャルスポンサーです。

WE
CHOOSE
HUUB



HUUB
RESEARCH | SCIENCE | REALITY

STYLE BIKE, Inc. <http://www.stylebike.co.jp/>

Email : shop@stylebike.co.jp TEL : 075-255-1157



(イメージ)

出張経費も関連業務もスマートに。 **H.I.S.**

H.I.S.の海外出張

Business travel

年間取扱い**10,000社**以上の実績に裏づけされたコンサルティング

経験と豊富なサービスを駆使した複数提案で経費削減。

- 24時間H.I.S.オリジナルディスカウントの航空券の手配も可能なSFIDAオンライン(インターネットセルフブッキングシステム)
- 100万種類の海外航空券
- 日本では購入しづらいLCC(格安航空会社)50社以上を取り扱い

- 日本国内出張も取り扱い(ベネフィットワンシステムと業務提携)
- 専任チームによるきめ細やかな対応
- 渡航履歴を基にした様々なデータの分析で出張規定改善案を提案



(イメージ)

・出張管理/申請/承認もオンラインで手間と時間をカット

◎企業カルテを作成し、希望航空会社・マイルージ・座席希望など予約時の手間を軽減。快適な出張手配を実現します。

海外127都市186拠点 海外ネットワーク

(2015年4月現在)

日本を拠点にグローバルに海外進出されている海外支社の出張コストも(海外間、日本発着)本社一元管理を提案

- 突発的なトラブルを現地にてサポートするサポートコール出張先でも24時間安心
- 出張先での急な予定変更にも、リーズナブルでスピーディーに対応

H.I.S.が提供する豊富なサービスを駆使して危機管理・赴任サポート

- 出張者の位置情報を即座に確認できるCLICK(危機管理システム)ならひと目で情報を把握
- 赴任までのスケジュールや赴任先の現地情報を提供する、赴任者サポートサービス
引越し手配や査証手続き、予防接種などもお手伝いします
※一部の国や地域によっては他社に委託する場合があります。

H.I.S スポーツイベントセクション

スポーツ体験・スポーツ観戦ツアーはお任せください



(画像は全てイメージです)



ご予約・お問い合わせ

H.I.S. スポーツイベントセクション

新宿 ☎ 03-5360-4681

横浜 ☎ 045-410-1571

営業時間：月～金 11:00～19:30 / 土 11:00～18:30 / 日 11:00～18:00

営業時間：月～金 / 土 / 日 11:00～19:00

<http://www.sports-his.com>

SHIMANO BICYCLE COMPONENTS

すべてのサイクリングファンの笑顔を支える — シマノ バイシクルコンポーネンツ

レースに勝つために走る。初めてのサイクルスポーツイベントに挑戦する。仲間たちとロングライドに出かける。

様々なライディングシーンに圧倒的な高性能で応え、すべてのライダーに笑顔をお届けしたい。



DURA-ACE

SHIMANO
ULTEGRA

SHIMANO
105

SHIMANO
Tiagra

SHIMANO
SORA

SHIMANO
Claris

レース

スポーツ

ツーリング

妥協なき高性能。揺るぎのないシマノの製品づくりは
すべてのコンポーネントに息づいています。

株式会社シマノ シマノ セールス 株式会社

〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町 1-5-15 「自転車お客様相談窓口」ナビダイヤル0570-031961 (IP電話からは072-243-2829をご利用ください)
● <http://cycle.shimano.co.jp> ● 広告の内容は2016年3月20日現在のものです。● 商品の色は印刷の性質上実際とは多少異なることがありますので、ご了承ください。